

# 北信濃里山通信 vol.17

2014年8月9日発行

## 巻頭言 「クララの花と蝶たち」

事務局長 福本匡志

オオルリシジミのシーズンも終了し、今年も成虫や幼虫を観察できたことに胸をなでおろしています。オオルリシジミの幼虫は、食草であるクララの蕾や花しか食べないので、花の付き具合（花の量）は、幼虫の生育や生存にも影響すると思われ、去年は、クララの花つきが悪く、今年の発生を少々心配していたところでした。大豆やインゲンなどマメ科作物は高温・干ばつなどの気象条件により、「花」や「さや」の付きが悪くなるといわれており、マメ科植物であるクララもそのような生理特性があるのかもしれませんが。

本年は、クララの花がよく咲き、オオルリシジミの幼虫のほか、花に集まる様々な蝶たちを観察することができました。花は蝶たちにとって、餌としての蜜源となっており、花が咲く吸蜜植物を増やすことは、蝶を呼ぶ手段ともなる。草原も放任され、イネ科草本などが繁茂すると、蝶の吸蜜植物が減り、草種の多様度も低下するといわれています。

これからも北信濃の蝶たちの「にぎわい」が見られるよう、クララのほか、多様な草種で構成される草原環境の創出と維持を考えてゆきたいです。

### クララの花に集う蝶たち

※いずれも撮影は2014年7月13日、飯山市内のオオルリシジミ生息地にて



キアゲハ



トラフシジミ



カラスシジミ



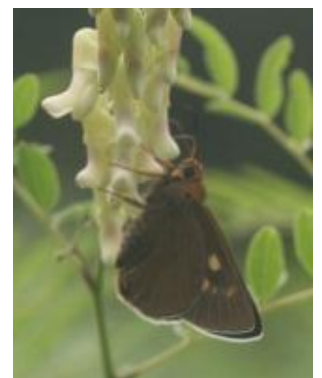
イチモンジチョウ



ウラギンヒョウモン



アカタテハ



キバネセセリ

## お知らせ

### ・オオルリシジミの食草・クララの植栽活動

オオルリシジミの試行的放蝶を行っている戸狩地区において、定着の安定化を図るため、食草・クララの植栽を行いますので、参加をお願いします。

【日 時】 8月23日（土）午前9:00～11:00頃  
※少雨決行ですが、中止されるような悪天が予想される場合は。前日の夕方、当会事務局（飯山市教育委員会）TEL：0269-62-3342へ問い合わせください。

【集合場所】 戸狩温泉「望の湯」（ニツ宮）駐車場  
（飯山市豊田7033-3：戸狩野沢温泉駅から県道95号線を温井方面へ、戸狩スキー場近く・ニツ宮バス停を左折）に午前9時集合。

その後は、駐車場から北側にあるオリオンゲレンデに移動、オオルリシジミ放蝶地から下方、リフト沿いにクララを植栽する予定です。

当日は、作業に適した服装（軍手、長靴）でお越してください。植栽のための道具（スコップなど）は、当方で用意します。



昨年、「挿し木」で増殖したクララを植栽します。



放蝶地のクララ・・・発生の安定化、エリアの拡大を図ります。

## 活動報告など

事務局

### ・飯山市戸狩地区への「オオルリシジミ試行的放蝶」

5月6日、飯山産オオルリシジミの絶滅回避を目的として、本年も戸狩地区の類似生息環境へ試行的に放蝶作業を実施しました。本年は放蝶数を増やし、60頭ほどの蛹を、鹿沼土が入った鉢に入れ（6頭×10鉢）、土中に埋め込みました。

その後、成虫は6月5日に初確認され、以後は4～7頭が見られるようになり、6月10日にはクララへの産卵が観察されました。

6月21日には幼虫6頭を確認、順調に発生したように思われます。



オオルリシジミの産卵確認（6/10）



蛹の入った鉢の埋め込み作業

### ・第3回オオルリシジミ親子観察会

本年度3回目となる、「オオルリシジミ親子観察会」を6月8日（日）及び15日（日）に開催しました。本年もSAVE JAPANプロジェクトの一環として、長野県NPOセンターのほか、日本NPOセンター、（株）損保ジャパンの関係の方々もお見えになりました。また、信州大学教育学部エコキャンパス委員会からの後援もあり、信大教育学部の学生さんにも参加いただき、両日あわせて80名近い参加がありました。

観察会では、蝶類のモニタリング調査を行い、参加者全ての方々が、オオルリシジミを観察することができました。一人あたりのオオルリシジミ平均の目撃数は、8日は5.0頭、15日は4.1頭で、概ね昨年並みの観察数となりました。その他、カラスアゲハ、ウラギンヒョウモン、イチモンジチョウ、コチャパネセセリ、ヒメシジミなどが観察され、ルリシジミが例年よりも多く見られる傾向にありました。



観察会のようす



6月8日観察会



6月14日観察会



靴にとまるオオルリシジミ

本年のオオルリシジミの発生経過は、6月7日に成虫初見（4頭確認）で、春先の気温が低かったためか、例年よりもやや遅い発生となりました。6月14日から卵が観察されるようになり、6月22日にはクララ100穂あたり27卵が確認されました。成虫終見は6月30日、7月5日には中齢～終齢幼虫を観察しています。

なお、7月14日にクララの挿し木を行い、来年以降の生息地整備に向け、食草を増殖中です。

## ・監視カメラの画像

オオルリシジミの生息地には、違法採集者への対策として、監視カメラを4台設置しています。

カメラは内蔵しているセンサーにより、動くものを感知して、撮影するしくみです。

生息地内を通行する人もカメラに撮影されていましたが、中には右の写真（カモシカ）のように動物も写っており、普段、あまり目にしない動物たちの活動を知ることができました。

画像は思ったよりも鮮明に写っており、カメラの性能に感心しています・・・。



## ・マイマイガ幼虫の大発生

本年は、県北部を中心に、毛虫のマイマイガの幼虫が大量発生し、山の木々の葉を食い尽くし、低木や草本にまで集まりました。



**マイマイガ幼虫  
様々な木々の葉を食べる  
森林害虫**

オオルリシジミの生息地でも大発生し、クララはあまり被害を受けませんでした。オオルリシジミの観察で生息地に入るたびに、

知らないうちにマイマイガの幼虫が、体や持ち物に付着する状況に閉口しました・・・。

このような害虫は大発生すると、ウイルスなどの病気や天敵の寄生蜂などが流行し、発生が拡大せずに終息するのが一般的ですが、最近の里山荒廃の動向もあり、来年どうなるか、少々気になるところであります。



**マイマイガ幼虫に葉を食べられ、新芽を出したカラマツ:まるで春の芽吹きのように……**

## 編集後記

オオルリシジミのシーズンも終わり、事務局の福本は、これまでの北信濃の蝶類の記録整理に手をつけようかというところ。信州は蝶類の生息種数が全国トップクラスで、まずは、東信地方の蝶類生息状況の記録を将来に残そうと、この4月に「信州浅間山麓と東信の蝶」がこの地方に関係する蝶類研究者により出版されました。この本の刊行にあたり、自分も執筆・編集に関わりましたが、次は飯山・北信濃を含む北信の蝶の記録集・解説本を、来年度を目処に出版する計画があがっています。

会員の方々にも、北信地方の蝶類の情報提供をお願いしたいと考えていますので、これから来年にかけて、いつ・どこで・どのような蝶が見られたか、観察記録・写真撮影などお願いします。詳細は、また、次回以降で・・・。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行  
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1 4 3 6-1  
飯山市公民館内  
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940  
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp  
編集者・事務局長：福本匡志